

## 福島第一原子力発電所20km圏内海域における魚介類の測定結果

【放射性セシウムの最大値による分類(魚種別、H24年10月～)】

- ・放射性セシウム134, 137の合計値 単位:ベクレル/kg(生)
- ・平成24年10月9日～平成24年12月21日に採取
- ・食品基準値(平成24年4月1日以降):100 ベクレル/kg

[福島第一原子力発電所20km圏内(同所港湾内を除く)]

魚 類	最大値	最小値	測定回数 (基準値超数)	魚 類	最大値	最小値	測定回数
マコガレイ	1690	23.7	21(7)	キアソコウ	22.6	ND	4
クロソイ	1470	29	3(2)	メジロザメ属	20.2	5.6	3
コモンカスベ	780	53	31(27)	マガレイ	20	7.4	6
アイナメ	450	15	20(8)	マアジ	18.9	ND	4
カスザメ	420	8.7	10(7)	ギンアナゴ	18.5	—	1
ケムシカジカ	410	136	6(6)	ヤナギムシガレイ	17.9	—	1
ドチザメ	390	270	2(2)	ブリ	16.3	ND	6
ヒラメ	350	17.2	35(13)	シログチ	14.6	8.9	3
ババガレイ	330	20.1	10(6)	カナガシラ	13.6	ND	9
イシガレイ	212	22.6	10(1)	チダイ	12.9	ND	10
アカエイ	178	6.4	8(2)	オオクチイシナギ	12.1	ND	3
スズキ	165	35	8(1)	イシガキダイ	ND	—	1
ホシガレイ	165	—	1(1)	ウマヅラハギ	ND	—	1
マゴチ	138	31.9	5(3)	クサウオ	ND	—	4
ホシザメ	121	5.8	14(1)	ゴマサバ	ND	—	1
ホウボウ	76	4.5	12	サザナミフグ	ND	—	1
クロダイ	75	—	1	シロザケ	ND	—	1
ムシガレイ	59	5.2	4	イカ類	最大値	最小値	測定回数
ニベ	57	27.4	9	ジンドウイカ	ND	—	5
ショウサイフグ	48	21.9	3	ヤリイカ	ND	—	2
メイタガレイ	46	5.5	5	タコ類	最大値	最小値	測定回数
アカシタビラメ	34	—	1	ミズダコ	ND	—	3
ホシエイ	34	ND	4	甲殻類	最大値	最小値	測定回数
マトウダイ	34	4.2	12	ガザミ	37	ND	18
マアナゴ	32	13.7	4	ヒラツメガニ	19.9	ND	7
マダイ	29	ND	7				

(備考)NDの値は、Cs134で約3.0ベクレル/kg,Cs137で約3.1ベクレル/kg

種類数	48
内100Bq/kg超	15(31%)
測定回数	342
内100Bq/kg超	87(25%)

※括弧内は、100Bq/kgを超えた割合

【放射性セシウム134, 137の合計値による分類(魚種別、H24年3～9月)】

- ・放射性セシウム134, 137の合計値 単位:ベクレル/kg(生)
- ・平成24年3月29日～平成24年9月19日に採取
- ・食品基準値(平成24年4月1日以降):100 ベクレル/kg

魚類	最大値	最小値	測定回数 (基準値超数)	魚類	最大値	最小値	測定回数
アイナメ	25800	ND	86(44)	マサバ	14.3	ND	2
シロメバル	1880	540	6(6)	コウナゴ	12.9	ND	4
マツカワ	1670	690	2(2)	マフグ	10.2	ND	2
スズキ	1610	33	17(11)	ソウハチ	8.3	4.1	2
ドチザメ	1430	4.4	9(3)	ブリ	6.5	ND	5
ババガレイ	1260	ND	36(22)	ニタリ	6	—	1
ヒラメ	1190	5.6	51(30)	ヒレグロ	4.8	ND	2
コモンカスベ	1000	168	47(47)	アカガレイ	4.1	—	1
マコガレイ	920	21.3	42(23)	カガミダイ	ND	—	2
ムラソイ	830	—	1(1)	スケトウダラ	ND	—	1
ヌマガレイ	810	580	2(2)	メダイ	ND	—	1
ケムシカジカ	670	25	7(5)				
クロソイ	620	410	4(4)	イカ類	最大値	最小値	測定回数
アカエイ	460	55	7(5)	エゾハリイカ	ND	—	5
イシガレイ	390	29	10(4)	ジンドウイカ	ND	—	9
カスザメ	222	66	4(3)	ヤリイカ	ND	—	3
ホシエイ	205	ND	10(2)				
マゴチ	187	140	3(3)	タコ類	最大値	最小値	測定回数
ホシザメ	169	4.7	10(2)	ヤナギダコ	9.1	ND	6
クロダイ	160	94	2(1)	ミズダコ	7.7	ND	13
ニベ	127	38	15(4)	マダコ	ND	—	1
ホウボウ	107	19.9	6(1)				
マダラ	107	16.7	11(1)	甲殻類	最大値	最小値	測定回数
マガレイ	103	10	8(1)	ガザミ	40	ND	16
メジロザメ属	93	4.6	8	ヒラツメガニ	26	ND	16
シログチ	69	15	7				
マアナゴ	66	21.4	2				
マトウダイ	63	12.5	11				
ムシガレイ	57	4.5	8				
カナガシラ	53	6.4	21				
メイタガレイ	53	—	1				
アブラツノザメ	50	ND	15				
ナガヅカ	47	16.4	3				
キアンコウ	42	ND	17				
マアジ	38	10.7	5				
メダイ	38	ND	8				
ヤナギムシガレイ	36	21.6	4				
チダイ	26	ND	4				
イシカワシラウオ	23	—	1				
サメガレイ	17	ND	2				

種類数	59
内100Bq/kg超	24(41%)
測定回数	605
内100Bq/kg超	227(38%)

※括弧内は、100Bq/kgを超えた割合

(備考)NDの値は、Cs134で約3.1ベクレル/kg, Cs137で約3.3ベクレル/kg

【表1-1. 採取点ごとの測定結果(その1)】

採取点(採取日)	採取魚種 (青文字の魚は食品基準値100ベクレル/kg以下)
底1 (10/25)	ヒラメ、アイナメ、マコガレイ、ホウボウ、オオクチイシナギ、マトウダイ、チダイ、ブリ コモンカスベ、イシガレイ
底1 (11/16)	イシガレイ、コモンカスベ、マコガレイ、ヒラメ、ホウボウ、マガレイ、カナガシラ、チダイ
底1 (11/30)	コモンカスベ、ヒラメ、スズキ、マアナゴ、アイナメ、マコガレイ、マガレイ、マトウダイ、カナガシラ、チダイ
底1 (12/21)	イシガレイ、スズキ、マコガレイ、ババガレイ、アイナメ、ムシガレイ、マガレイ、ギンアナゴ、メイタガレイ、 ヒラメ、マアナゴ、カナガシラ、チダイ、ウマヅラハギ、ブリ、マアジ
底2 (10/25)	ヒラメ、マコガレイ、ホシザメ、マガレイ、アイナメ、チダイ、ホウボウ、カナガシラ、メイタガレイ、オオクチイシナギ、 マトウダイ、ジンドウイカ
底2 (11/16)	イシガレイ、マコガレイ、ヒラメ、アイナメ、マアナゴ、マトウダイ、カナガシラ、マアジ、ジンドウイカ、チダイ、ミズダコ、 ヤリイカ
底2 (11/30)	スズキ、コモンカスベ、アイナメ、メイタガレイ、ヒラメ、マコガレイ、マダイ、マガレイ、チダイ、ホシザメ、マトウダイ、 カナガシラ、マアジ
底2 (12/21)	コモンカスベ、マコガレイ、ババガレイ、メイタガレイ、ヒラメ、ヤナギムシガレイ、マアナゴ、マガレイ、ムシガレイ、 オオクチイシナギ、ガザミ、カナガシラ、ジンドウイカ、チダイ、ミズダコ、ヤリイカ スズキ
底3 (9/10)	ババガレイ、マコガレイ、マトウダイ、カナガシラ、ヒラメ コモンカスベ
底3 (10/21)	カスザメ、イシガレイ、アカエイ コモンカスベ、ヒラメ、マコガレイ
底3 (11/5)	イシガレイ、マコガレイ、ヒラメ、ホウボウ、ホシエイ コモンカスベ、ババガレイ、カスザメ
底3 (12/14)	ババガレイ、イシガレイ、スズキ、ヒラメ、ショウサイフグ、カナガシラ、ホウボウ、マダイ、チダイ、ジンドウイカ コモンカスベ、マコガレイ、
底4 (9/10)	ヒラメ、マトウダイ、ムシガレイ、ホシザメ、カナガシラ、チダイ、カガミダイ、マダイ コモンカスベ、イシガレイ、マコガレイ
底4 (10/21)	マコガレイ、イシガレイ、ホウボウ、アカエイ、マダイ コモンカスベ、ヒラメ、カスザメ
底4 (11/5)	マコガレイ、メイタガレイ、ショウサイフグ、ホシザメ、マトウダイ、イシガレイ、ホシエイ、ホウボウ、マダイ コモンカスベ、ヒラメ
底4 (12/14)	ショウサイフグ、アイナメ、ヒラメ、チダイ、カナガシラ、ムシガレイ、ホウボウ、ジンドウイカ コモンカスベ、ババガレイ
刺1 (9/5)	ヒラメ、ニベ、ガザミ コモンカスベ、アカエイ、カスザメ
刺1 (10/18)	ニベ、メジロザメ属、イシガキダイ、ガザミ コモンカスベ、ヒラメ、マゴチ
刺1 (11/8)	ガザミ、ヒラツメガニ コモンカスベ、ケムシカジカ
刺1 (12/20)	ヒラメ、ヒラツメガニ クロソイ、コモンカスベ

【表1-2. 採取点ごとの測定結果(その2)】

採取点(採取日)	採取魚種 (青文字の魚は食品基準値100ペクレル/kg以下)
刺2 (9/5)	ホシエイ、ヒラメ、ニベ、マトウダイ、メジロザメ属、ヒラツメガニ、ガザミ、マサバ シロメバル、コモンカスベ
刺2 (10/18)	ヒラメ、ニベ、ホシエイ、メジロザメ属、ガザミ、サザナミフグ アカエイ、アイナメ
刺2 (11/8)	スズキ、ヒラメ、ニベ、マトウダイ、ヒラツメガニ、ホシザメ、ガザミ、シロザケ ケムシカジカ、コモンカスベ
刺2 (12/20)	ババガレイ、アイナメ、マコガレイ、ヒラメ、アカエイ、キアンコウ、クサウオ ケムシカジカ、コモンカスベ
刺3 (9/19)	メジロザメ属、ドチザメ、ガザミ コモンカスベ、アイナメ、ヒラメ、マコガレイ
刺3 (10/13)	マゴチ、スズキ、ニベ、ガザミ、アカシタピラメ、ホシザメ、マダイ コモンカスベ、ヒラメ、ホシガレイ
刺3 (11/21)	ホシザメ、シログチ、ブリ、マトウダイ、ガザミ コモンカスベ、ババガレイ、ヒラメ、カスザメ
刺3 (12/13)	ヒラメ、ホシザメ、スズキ、アカエイ、ホウボウ、ヒラツメガニ、ガザミ、クサウオ、ブリ マコガレイ、コモンカスベ、ケムシカジカ
刺4 (9/19)	マコガレイ、ニベ、ヒラメ、メジロザメ属、ホシエイ アカエイ、コモンカスベ
刺4 (10/13)	ヒラメ、ニベ、マダイ、マアジ、カスザメ、ホシエイ、メジロザメ属、ヒラツメガニ、ブリ、ガザミ、シロザケ マコガレイ、アイナメ、コモンカスベ
刺4 (11/21)	ヒラメ、イシガレイ、マコガレイ、マダイ、ホウボウ、ブリ、ホシザメ、ガザミ ババガレイ、コモンカスベ、アイナメ
刺4 (12/13)	ヒラメ、ホシザメ、クロソイ、キアンコウ、ガザミ、クサウオ マコガレイ、アイナメ、コモンカスベ、ババガレイ
刺5 (9/15)	ニベ、ガザミ コモンカスベ、アカエイ、カスザメ、マゴチ、ヒラメ
刺5 (10/15)	ニベ、ガザミ コモンカスベ、ヒラメ、ドチザメ
刺5 (11/15)	シログチ コモンカスベ、ヒラメ、マコガレイ
刺5 (12/9)	カスザメ、マトウダイ マコガレイ、コモンカスベ、ドチザメ、ババガレイ、アイナメ、ヒラメ
刺6 (3/29)	コウナゴ
刺6 (4/7)	アブラツノザメ、マダラ、サメガレイ、 ヒラメ、マコガレイ、ケムシカジカ
刺6 (4/11)	アブラツノザメ、 マコガレイ、ババガレイ、コモンカスベ、マダラ
刺7 (9/15)	ニベ、メジロザメ属、ガザミ ドチザメ、コモンカスベ、ヒラメ
刺7 (10/15)	クロダイ、ニベ、ホシザメ、マトウダイ、ガザミ クロソイ、コモンカスベ、アイナメ、ヒラメ
刺7 (11/15)	ヒラメ、アカエイ、ガザミ コモンカスベ、アイナメ、カスザメ
刺7 (12/9)	キアンコウ、マトウダイ コモンカスベ、ヒラメ、カスザメ
刺8 (10/14)	アカエイ、ヒラメ、ニベ、マゴチ、ヒラツメガニ、シログチ、ガザミ コモンカスベ、ホシザメ
刺8 (11/10)	ヒラメ、ホシザメ、ニベ、ガザミ、ヒラツメガニ ケムシカジカ、コモンカスベ、アカエイ、マゴチ、カスザメ
刺8 (11/19)	ホウボウ、ホシザメ、マトウダイ、ガザミ、ゴマサバ、シロザケ ケムシカジカ、ヒラメ、マゴチ
刺8 (12/17)	ムシガレイ、ホウボウ、マコガレイ、ホシザメ、キアンコウ、ガザミ、クサウオ、ミスダコ コモンカスベ、カスザメ、ヒラメ

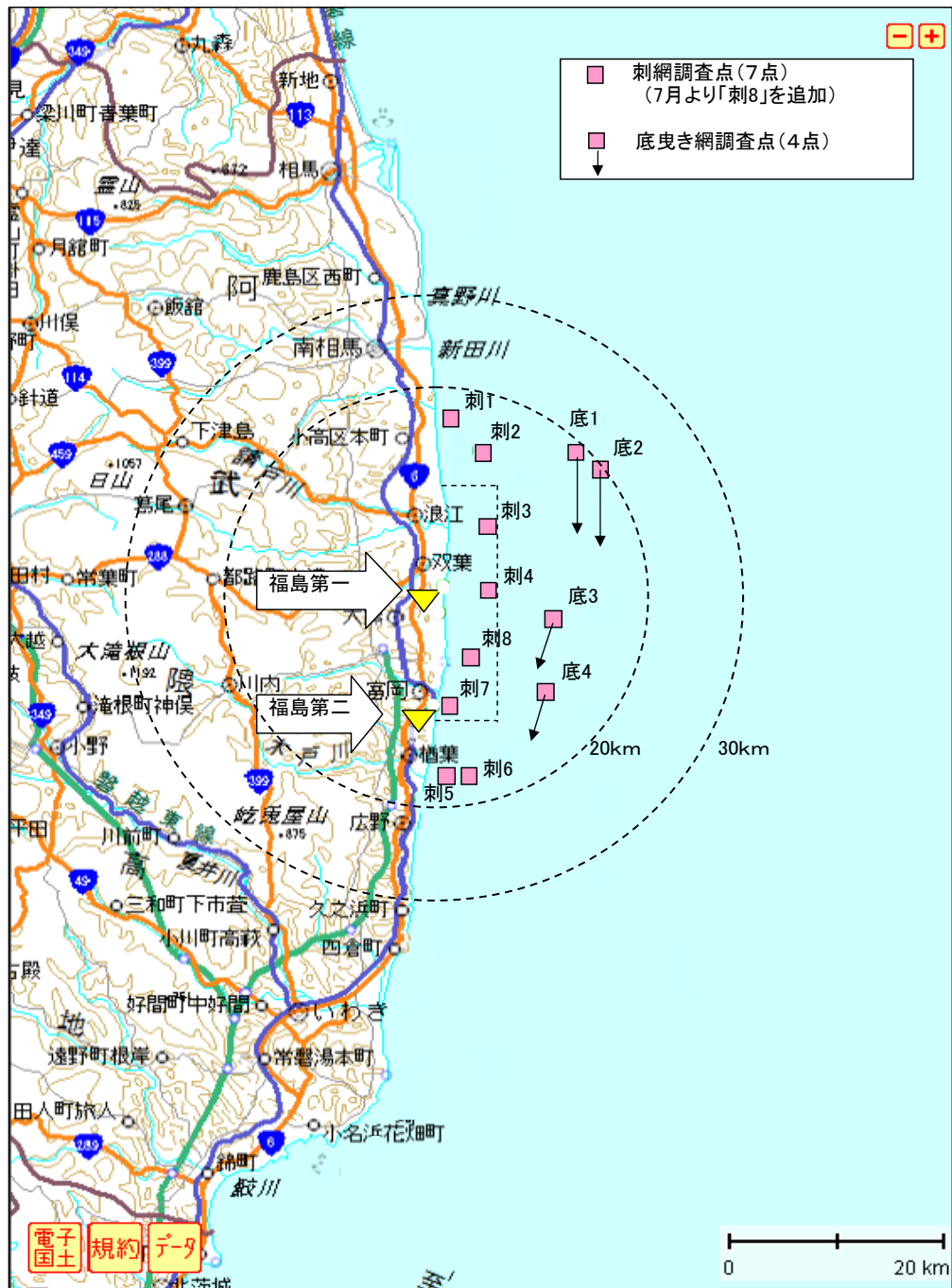
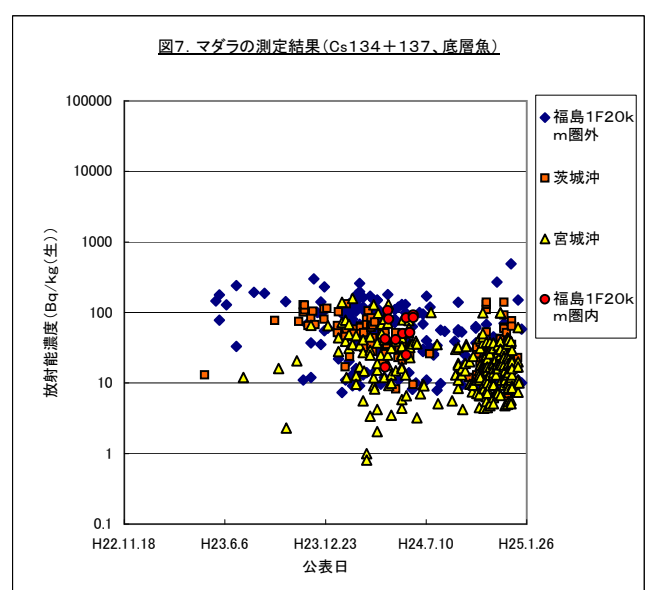
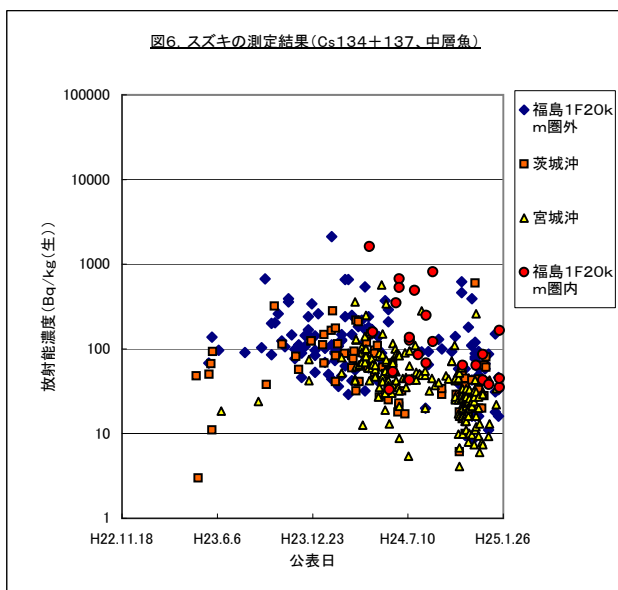
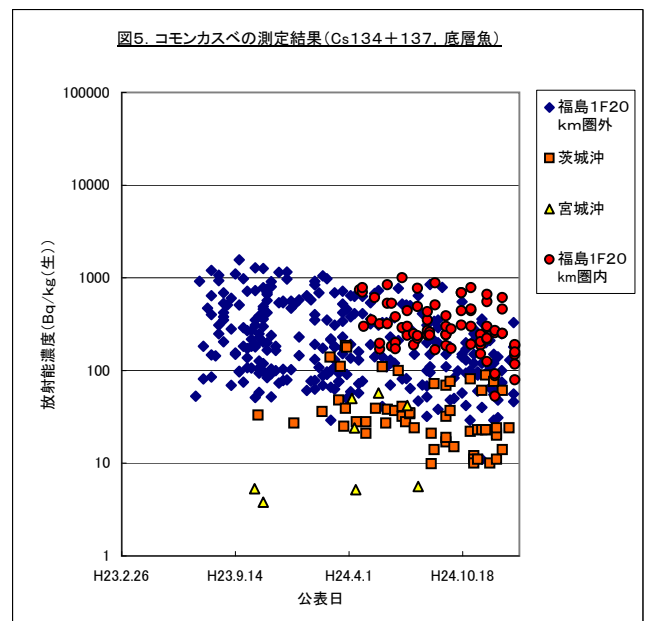
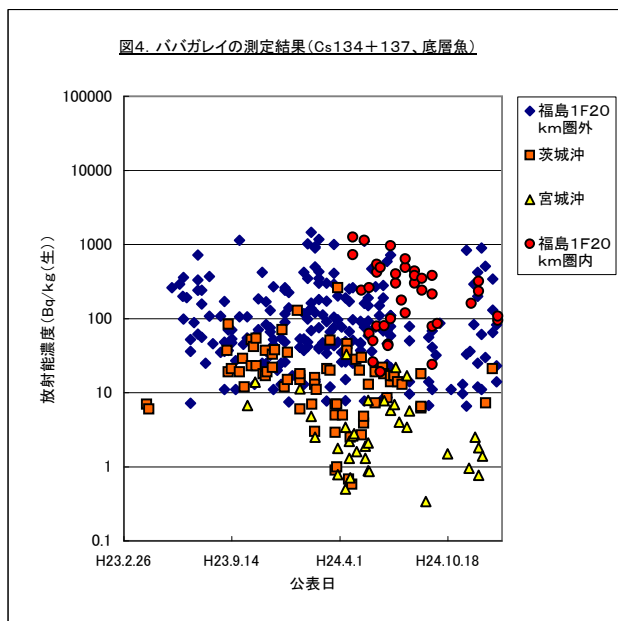
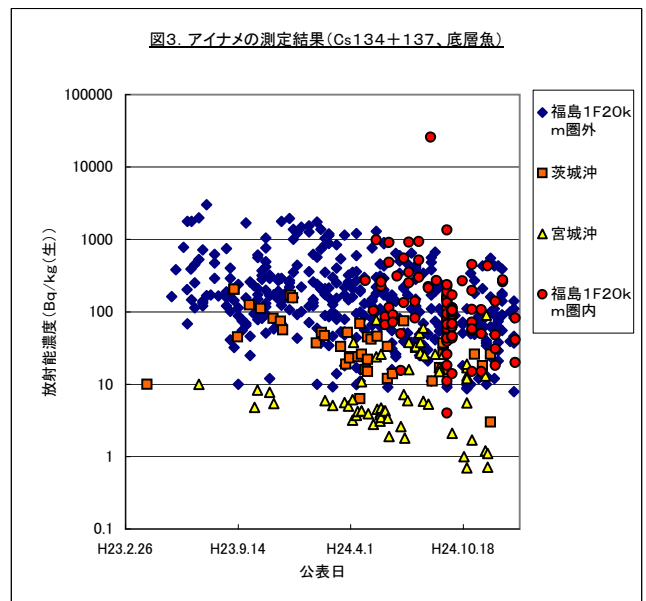
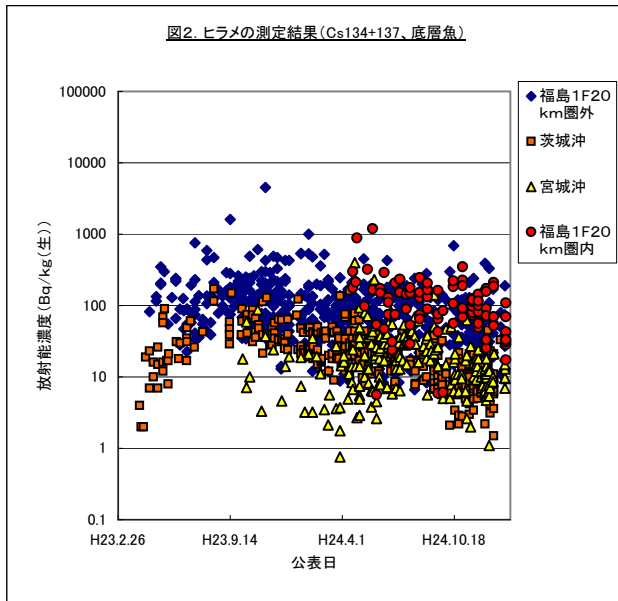


図1. 魚介類調査位置 (H24年12月現在)



(備考) 福島1F20km圏外、茨城沖、宮城沖の測定結果は、水産庁HPより入手してグラフに入力した。

## かごによる港湾内の魚類捕獲（駆除）



【速報】H25.1.18捕獲状況(エリアA~Dにて捕獲)

魚類	捕獲数
アイナメ	6
マアナゴ	5
エゾイソアイナメ	26
クロソイ	1
ムラソイ	3
カサゴ	1
合計	42

表. 港湾における魚類測定結果

試料名 (部位)	捕獲日	Cs濃度 ( B q / k g ( 生 ) )			捕獲場所
		Cs-134	Cs-137	C s 合計	
エゾイソアイナメ ( 筋肉 )	H24. 10. 10	1,600	2,600	4,200	A
クロソイ ( 筋肉 ) No.1		660	1,100	1,760	A
クロソイ ( 筋肉 ) No.2		830	1,400	2,230	A
マアナゴ ( 筋肉 )		5,900	9,600	15,500	A
アイナメ ( 筋肉 ) No.1	H24. 12. 20	15,000	25,000	40,000	A
アイナメ ( 筋肉 ) No.2		7,300	13,000	20,300	A
エゾイソアイナメ ( 筋肉 ) No.1		1,400	2,500	3,900	A
エゾイソアイナメ ( 筋肉 ) No.2		310	530	840	C
エゾイソアイナメ ( 筋肉 ) No.3		270	500	770	C
タケノコメバル ( 筋肉 )		37,000	64,000	101,000	C
マアナゴ ( 筋肉 ) No.1		760	1,400	2,160	A
マアナゴ ( 筋肉 ) No.2		310	560	870	A
マアナゴ ( 筋肉 ) No.3		670	1,200	1,870	C
ムラソイ ( 筋肉 ) No.1		5,700	9,800	15,500	A
ムラソイ ( 筋肉 ) No.2		94,000	160,000	254,000	A
ムラソイ ( 筋肉 ) No.3		51,000	89,000	140,000	A
ムラソイ ( 筋肉 ) No.4		19,000	30,000	49,000	A

# 福島第一原子力発電所港湾内魚類対策の概略工程(案)

平成25年1月28日  
東京電力株式会社



①: 魚類移動防止 ②: 魚類捕獲(駆除) ③: 港湾内海底土の環境改善(浚渫)

	H24年度						H25年度								
	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
全体工程	魚類捕獲(駆除)、発電所港湾外への魚類移動防止等 (捕獲した魚類の数と放射能レベルのトレンド監視を行い、適宜、対策を見直し)														
① 魚類移動防止															
< 港湾口遮断し網設置 >	[ 実施準備中 ]														
< 堤防内側仕切り網設置 >	網の手配   網設置工事   仕切り網による移動防止														
② 魚類捕獲(駆除)															
< カゴ漁 >															
捕獲点1箇所 (物揚場)	● 10														
捕獲点2箇所 (物揚場、南防波堤)		● 20													
捕獲点3箇所 (物揚場、南・北防波堤、 東波除堤、1~4号取水路 設置内)	カゴ漁実施(月3回程度)														
< 刺し網漁 > 港湾内	(実施に向け協議中)														
< 刺し網漁 > 港湾外の南北海域2地点	(実施に向け協議中)														
③ 港湾内海底土環境改善															
< 航路・泊地浚渫 >	浚渫、土砂の被覆														